

## 多摩区区民会議フォーラムを開催しました

昨年(2018年)の12月2日(土)に、多摩区役所 11 階会議室において「多摩区区民会議フォーラム」を開催しました。3月に予定している区長への提言のとりまとめに向けて、これまでの審議状況の報告と、参加者との意見交換を行いました。意見交換では、第6期多摩区区民会議に設置した2つの専門部会「住民がつくる公園部会」、「地域包括ケアシステムを支える部会」の審議内容や方向性等について活発にたくさんの意見をいただきました。

### ＜意見交換会＞

それぞれの部会のテーマごとに2つのグループをつくり、委員と参加者の約40名が合計4つのグループに分かれて意見交換を行いました。ここで出された意見も踏まえながら、提言のとりまとめを進めていきます。



### テーマ：身近な公園をより魅力アップする方法

#### 【いただいた主な意見】

#### ■住民が公園を管理できることが知られていない

- ・制度や仕組みが知られていない。PRが必要。
- ・公園を誰が管理しているか分からない。
- ・どうしたら管理運営に関われるのか分からない。
- ・管理運営協議会の看板には連絡先が書かれていない。
- ・住民自身での管理は地域にとってもメリットがある。
- ・公園でこんなことをやろう、という企画ができるなら管理運営協議会に参加したい。

#### ■利用者の意見を聞く場が必要

- ・公園について住民の要望を聞いてくれる機会がない。
- ・公園の決めごとを地域で意見交換できるとよい。
- ・管理運営協議会が地域の意見を聞くことが大事。
- ・実際に利用する子ども達の意見を聞くことも重要。
- ・「マルシェ」等お母さん目線のイベントがあるとよい。

#### ■担い手が高齢化している

- ・管理を担える団体はメンバーが高齢化している。
- ・若い人が活躍できる場が必要ではないか。
- ・若い人の参加には良好なコミュニティづくりが必要。

### テーマ：みんなで進める地域での助け合い

#### 【いただいた主な意見】

#### ■地域包括ケアシステムのPRが足りない。繰り返しPRする必要がある

- ・町内会・自治会でも内容まで知られていない場合が多い。
- ・届けたい人のところに情報が届いていない。

#### ■PRや情報発信の仕方に工夫を

- ・子ども達を対象にアピールしてみてもどうか。
- ・小・中学校への出前講座を行ってどうか。
- ・親世代には子どもからであれば情報が伝わりやすい。
- ・スマートフォンで見られるようなPRをするとよい。

#### ■地域包括ケアシステムという名称が難しい

- ・名称からは、自分がすべきことや、昔ながらの地域のつながりが必要という考え方が伝わらない。
- ・「自助」や「互助」といった言葉は聞きなれない。

#### ■自分事として捉えていない人が多い

#### ■時代にあったコミュニティのあり方を考えるべき

- ・「向こう三軒両隣」が成り立ちにくくなっている。
- ・情報交換等をするには住民の集まる場が必要。

## ■第6期多摩区区民会議の審議状況

### 「住民がつくる公園部会」の審議状況

部会のビジョン：若い人に住んでもらえるまち

審議テーマ：身近な公園をより魅力的にするための、地域住民による公園の管理運営方策

#### <提言の方向性と取組イメージ>

方向性	方向性1. 区民に公園の管理運営に参加してもらうための機運を高める	方向性2. 地域住民による公園の管理運営の促進・充実を図る	方向性3. 新規公園整備時やリニューアル時の住民参加を促進する
ポイント	○できるだけ多くの人に公園に関心を持ってもらい、できることから公園づくりに関わってもらうようにする。	○既に区民主体で公園の管理運営を行っている団体に、より魅力的な公園づくりをしてもらえるようにする。 ○公園緑地愛護会に、より柔軟な公園活用が可能な管理運営協議会へ移行してもらう。	○区内で新しくつくられる公園やリニューアルされる公園については、計画段階から地域が主体的に関わり、魅力的な公園づくりを進めてもらう機運をつくる。
考えられる取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■区ホームページに公園管理団体の募集ページを掲載</li> <li>■公園関連の冊子等でのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公園づくり等に関する情報を掲載した定期的な会報の発行</li> <li>■モデルケースの取組</li> <li>■協力団体リストの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■他都市事例等を参考にした、望ましい計画づくりプロセスのPR</li> </ul>

### 「地域包括ケアシステムを支える部会」の審議状況

部会のビジョン：地域包括ケアシステム推進のための地域力向上

審議テーマ：地域包括ケアシステムを知ってもらう、関心を持ってもらう

#### <提言の方向性と取組イメージ>

方向性	方向性1. 地域包括ケアシステムについて、まずは知らない人に知ってもらう	方向性2. 自らの「自助」や地域における「互助」の具体的な取組を促進する
ポイント	○これまでの行政の広報内容を踏まえ、認知度の低い世代にも届き・伝わるPRが必要。 ○既に自助や互助の取組をしている人にもシステムの趣旨・内容を知ってもらうことで、更なる活動の充実や地域での連携を促進する。	○区民一人ひとりによる取組が期待される「自助」や「互助」を積極的に推進してもらう。 ○特に地域の実情に合わせた取組が必要となる「互助」について、プライバシーへの配慮の仕方など、これから取り組む人が感じる不安を解消する。
考えられる取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■目にとまり、分かりやすいチラシの作成</li> <li>■紙媒体の啓発物を見ない人にも知ってもらうPR活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域での助け合い等の取組において参考に知ってもらえる事例集の作成</li> </ul>

#### <ご意見・ご感想などをお寄せください>

区民会議の審議内容などについて、何かご意見などがありましたら、FAXかe-mailでお寄せください。

FAX：044-935-3391/e-mail：71kikaku@city.kawasaki.jp